

# みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 14-10号

2014年5月22日(木)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

## 5/20 集まった署名を県知事に直接渡し、懇談 県知事・窓口無料化を望む 73,947名の声を実質上無視



「すすめる会」は5月20日(火)午後、子ども・障がい者の医療費窓口無料を要望する73,947名の署名を持って、直接県知事に手渡し、短時間懇談しました。

当日の参加者はすすめる会から和田会長はじめ23名。県側からは阿部県知事、清水健康福祉政策課長が参加。

「すすめる会」からの要望・訴えの中で、阿部知事は、「長野県は、他県に比べて遅れている」との発言に反発し、新婦人の代表の発言に割り込む形で、「長野県は子どもの助成について高校卒業まで助成を実施している町村が全国的に比べ多い。事

実関係を共有したい。」との発言。この間地域住民の要望に応じて町村の独自の判断で実施している事業(県の助成水準以上は町村の全額独自財源)をあたかも県が補助しているかのような発言しました。

また、当初の約束時間(15分)を阿部知事自身がオーバーさせて、我々に対して「問い詰める」場面を含め18分40秒も演説調の持論(「長野県の子どもの助成対象は他県に比べて広い」「所得制限はなしで実施している」など)を展開しました。その中で啞然としたのは「子ども医療費助成は、所得制限なしで実施している。雇用が安定している県の職員や1000~2000万円もの高所得者にも県費で負担している。それはいかがなものか」「そもそも医療費を無料化する考えは、国民の代表で構成されている国会で決めた現在の医療制度、社会保障制度を根本から変えるものだ」など発言。

障がい児を持つ母親、精神障害をもつ当事者の発言なども受け、阿部知事は「お金がなくて医療費負担が大変な人、本当に困っている人はどんな方なのか、しっかり調べたい」などと答弁。これらの知事答弁は、「権利として社会保障」「応能負担原則」「お金のあるなしで医療給付の差別しない」など社会保障・医療保障の基本的な考え方を真っ向から否定する内容でした。

最後に知事は、「子どもの医療費助成のあり方は検討している。障がい者医療費助成は、別の角度から精査していく」と発言。窓口無料化には「市町村の意向を聞かないと」窓口無料化を求めて署名した73,947名の「声」「思い」は、実質上無視された答弁でした。

## 「検討するなら、窓口無料を」の声を更に大きく 信毎意見広告(6月下旬予定)賛同募金募集運動の成功を!

県知事への懇談の状況を踏まえ、「検討するなら窓口無料化」の声をより一層大きくしていく必要があります。昨日まで、90名の個人・団体からの賛同募金が寄せられていますが、県知事選挙の話題も多くなってきた中で、選挙戦の大きな争点にしていくため、信毎新聞への意見広告掲載の賛同募金運動を必ず成功させましょう。

# 窓口無料を要望する **73,947名**の特徴



昨年の10月から始めた「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化」を要望する県知事への署名は、署名提出の前日に最終集約され、73,947名となりました。7ヶ月の間の長い間の奮闘ご苦労様でした。署名は、上記のように県知事に直接手渡しました。

73,947名は長野県の有権者比では、4.23%に当ります。署名された中に県外の方が1,000名おられますので、それを差し引いた分72,947名は有権者比では4.18%になります。

## 自治体別の集計の特徴

\* 1000名以上集約の自治体は、13市です。

長野市 16,790名、松本市 7,958名、上田市 7,576名、飯田市 6,254名、安曇野市 3,909名  
茅野市 2,419名、佐久市 2,133名、塩尻市 1,974名、千曲市 1,935名、小諸市 1,298名  
須坂市 1,295名、東御市 1,009名、伊那市 1,000名

\* 有権者比5%以上の自治体は、18市町村でした。特に長和町では、共産党の議員先頭に全戸訪問活動が展開され、有権者比16.37%に到達。

長和町 16.37%、喬木村 7.63%、飯田市 7.42%、飯島町 7.05%、豊丘村 6.69%、白馬村 6.25%  
栄村 6.22%、下条村 6.21%、小海町 5.94%、上田市 5.87%、坂城町 5.85%、池田町 5.75%  
高森町 5.71%、平谷村 5.53%、長野市 5.37%、青木村 5.37%、茅野市 5.36%、売木村 5.08%

## 氏名公表許可の団体・個人の一覧（事務局に届けられた順）

長野県難病患者連絡協議会、上田市職員労働組合、木島村議・樋口勝豊、長野市議・小林義和、飯島町議・三浦寿美子、佐久穂町議・井出清嗣、飯綱町議・伊藤まゆみ、日向幼稚園・園長佐藤常治、ささべ幼稚園・事務長池田岳、天使幼稚園・園長高橋明星、上高田保育園、真島児童館・館長小山安正、南牧村議・片桐勝則、栄村議・山本千鶴子、下条村議・串原寛治、光こども園・代表理事松田敦子、南木曾町議・坂本満、池田町議・薄井孝彦、佐久市議・小林松子、木下保育園・保護者会長、天竜村職員組合、長野県精神保健福祉会連合会（ながのかれん）、伊那神経科病院理事長・高橋丈夫、日本共産党中野市議団団長青木豊一、安曇野市議・猪狩久美子、中丸子保育園保護者会、自治労働飯島町職員労働組合執行委員長・林潤、一般社団法人長野県ひとり親家庭等福祉連合会会長・牧田広利、医療法人龍川会西澤病院理事長・院長・西澤良育、安曇野市議・井出勝正、飯田市議・古川仁、長野県医療労働組合連合会執行委員長・小林吟子、NPO法人子どもサポート上田スタッフ、栄村職員労働組合執行委員長・斎藤雅広、学校法人いいつな学園、木曾町議・青山秀夫、山ノ内町職員労働組合執行委員長・花岡佳昭、長野県労働組合連合会議長・細尾俊彦、塩尻市議・柴田博、JMIU長野地方本部執行委員長・齊京信一、大桑村議・瓜尾美佐子、新日本婦人の会長野県本部、長野県母親大会連絡会、佐久市議・井出節夫、下諏訪町議・金井敬子、長野県商工団体連合会会長・滝沢孝夫、長野県商工団体連合会婦人部協議会会長・小野百合子、社会福祉法人稲田会かざくま保育園園長・寺島美千子、長野県身体障害者施設協会、長野県保険医協会会長・鈴木信光、入山辺保育園保護者会長、長野県高齢者生活協同組合理事長・市川英彦、厚生連新町病院小児科医長・大塚美悠紀、長野県私立学校教師職員組合中央執行委員長・轟勝彦、みつばち保育園保護者会長、長野県生活と健康を守る会連合会会長・藤沢詮子、連合長野高水地域協議会須高地区連絡会会長・小林君男、社会福祉法人満照寺保育園園長・水上和子、長野県高等学校退職職員協議会、新日本婦人の会飯田支部なすび班飯田支部委員・唐沢協子、長野県農団連みなみ信州農協労働組合、小諸北佐久薬剤師会会長・樽澤清子、伊那市議・柳川広美、つるみね保育園保護者会、反貧困ネットワーク信州、東信医療生活協同組合理事長・西澤弘行、上田生協診療所、上田生協居宅介護支援事業所所長・小桜王子、新日本婦人の会飯田支部松川班飯田支部委員・竹内恵美子、上田生協訪問看護ステーション、社会福祉法人古里会あゆみ保育園、社会医療法人中信勤労者医療協会大町協立診療所、同大町協立デイサービスセンター、同理事長・古畑俊彦、同山形協立診療所、同山形協立訪問看護ステーションなどでし、同松本協立病院、長野医療生活協同組合理事長・花岡邦明、社会福祉法人はなぞの会理事長・久保美栄子、斎藤寛武・えり子、竹中医院、社会医療法人健和会理事長・熊谷嘉隆、社会福祉法人わらべ福祉会みつばち保育園、社会福祉法人みおつくし会つくしんぼ保育園、社会福祉法人こぶし会ひよこ保育園、長野地区社会保障推進協議会、望月皮膚科医院、企業組合労働ながの代表理事・青木健、上田しいのみ会特別養護老人ホーム「室賀の里」施設長、株式会社E. E. A代表取締役・山口一美

（以上5月16日現在：公表90団体・個人、非公表56団体・個人、合計146団体・個人）

## ◆非公表を含めた主な分野別特徴

- \* 保育園・幼稚園・児童館関係：53団体・個人、
- \* 医療団体・医療機関関係：13団体・個人
- \* 連合傘下・中立系の労働組合：19労働組合、
- \* 県的（職能）団体：7団体